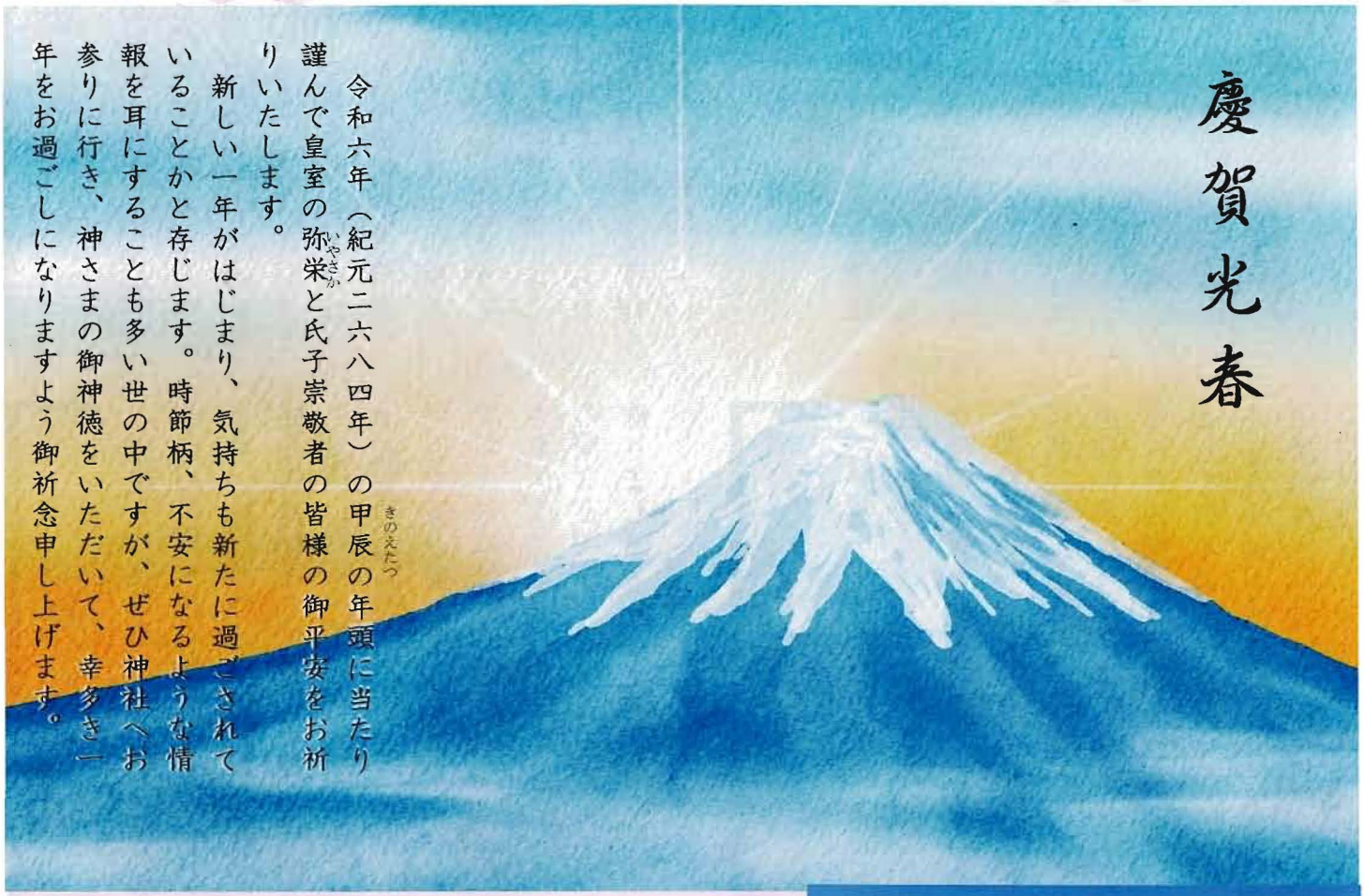
加島五千石総鎮守
米之宮浅間神社 社報
令和6年
正月号
1月1日発行



令和六年（紀元二六八四年）の甲辰（きのえたつ）の年頭に当たり謹んで皇室の弥栄（いやさか）と氏子崇敬者の皆様の御平安をお祈りいたします。

新しい一年がはじまり、気持ちも新たに過ごされていることかと存じます。時節柄、不安になるような情報を耳にすることも多い世の中ですが、ぜひ神社へお参りに行き、神さまの御神徳をいただいて、幸多き一年をお過ごしになりますよう御祈念申し上げます。

正月「奉納行事」のご案内

当神社境内にて以下の通り開催いたします

1月2日（火）
九時十五分 ～ 尺八、詩吟朗詠（竹友会・岳心流吟友会）
九時四十五分～古武道等演武（総合福祉武道学会・少林会 神刀正武塾・富士浅間眞流剣芯会）
十一時 ～ 木遣り、梯子乗り（氣組・富士木遣り愛好会・青柳会・富士地区鳶工業連合会）

1月3日（水）
十時 ～ 巻藁射礼（富士市弓道協会会員）
十時十五分 ～ 剣道演武（神明館）
十一時十五分～ 甲子囃子（富士本町甲子囃子保存会）
正午 ～ 馬弓神事（紅葉台木曽馬牧場）

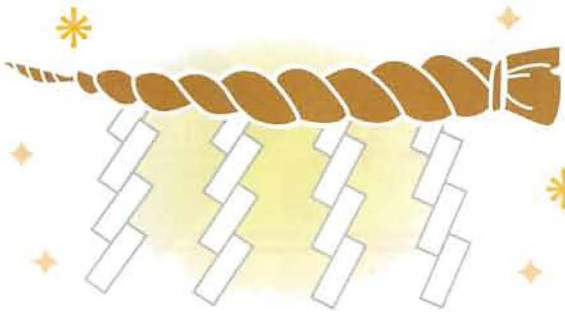
◇ ◇ ◇ ◇

節分祭「豆まき式」2月3日（土）
一回目 特別祈祷 十二時 豆まき式は約30分後
二回目 特別祈祷 十四時 （〃）
三回目 特別祈祷 十六時 （〃）

※ 厄除・招福祈願神事の受付中、詳細は社務所まで

注連縄（しめなわ）と紙垂（しで）について

注連縄とは、神社の社殿や鳥居、御神木、また神域や祭場などの周囲に張り巡らす縄のことで、注連縄を張ることにより、その内が神聖・清浄な状態にあることを示しています。これに垂らしてある半紙を折ったものは「紙垂」と呼ばれ、注連縄と同様に神聖・清浄であることを示しています。注連縄は藁をなって作られていますが、一般の縄と区別するため、縄目を左ないにしているのが特徴です。また家庭の神棚にも注連縄はよく用いられますが、一方が太く、一方が細くなるよう作られており、神棚にかける際は一般的に太い方を向かって右に、細い方を左になるようにつけます。



破魔矢について

破魔矢の起源は、その年の作物の豊凶を占うために行われてきた弓射であると言われます。江戸時代以降は子供の成長の無事を祈る縁起物として装飾を施した弓と矢が男児の初正月や初節供に送られました。現在では、破魔矢は魔を破り、災厄を祓う縁起物としてお正月に社頭で頒布されています。神棚や床の間など清浄な場所に飾りましょう。

おみくじについて

一般的におみくじは個人の運勢や吉凶を占う為に用いられますが、神社によって様々な種類があります。そもそも占いとは、物事の初めに当たって先ずは御神慮を仰ぎ、それに基づいて物事を懸命に遂行しようとする、信仰の表れと言えます。つまり、おみくじは単に吉凶判断を目的として引くのではなく、その内容を今後の生活指針としていくことが大切です。

神社では、家内安全・身体健全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・旅行安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病気平癒・心願成就・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓など様々なご祈願を受付けています。
いつもより神さまに近い場所で、願意を届けてみてはいかがでしょうか。
ご祈願についてのお問合せは神社まで

連絡先　米之宮浅間神社　社務所
〒四一六-〇九〇六
静岡県富士市本市場五八二
☎ 〇五四五(六一)〇八一七
FAX 〇五四五(六一)〇八二九

神社や神道について詳しくはこちらのQRからご覧ください。